

科目名 (科目番号)	日常生活活動学 (064171)	教員名 縄井清志	学科等	理学療法	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー			A303研究室(縄井)	
授業概要	本科目は、リハビリテーションにおいて大切な日常生活活動についての理解ができることを教育目標とする。具体的には、日常生活活動の内容や捉え方、QOLとの関連性などについて理解する。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標				
	1	ADLの概念	到達目標:日常生活活動の概要が理解できる。 学習内容:日常生活活動の概念と範囲を説明する。				
	2	ADLと健康・障害	到達目標:ICFに基づく健康・障害観とADLの関連性が理解できる。 学習内容:ICFと健康およびICFとADLの関連性を説明する。				
	3	ADLとQOL	到達目標:QOLの構造を理解すると共に、ADLとの関連性が理解できる。 学習内容:QOLの構造とADLとの関連性を説明する。				
	4	ADL評価1	到達目標:ADL評価の種類と役割を理解できる。 学習内容:ADL評価の位置づけと役割、種類を説明する。				
	5	ADL評価2	到達目標:Barthel Index と FIMが理解できる。 学習内容:Barthel Index と FIM の構成要素と実施方法を説明する。				
	6	ADLを支援する機器 (日常生活用具)	到達目標:説明した用具の名称と使用方法が理解できる。 学習内容:代表的な日常生活用具の種類や役割、使用方法を説明する。				
	7	ADLを支援する機器 (移動用具)	到達目標:説明した用具お名称と使用方法が理解できる。 学習内容:歩行補助具や車いすなどの移動用具の役割と使用方法を説明する。				
	8	総括とまとめ	まとめ				
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
成績評価の方法・基準	期末テスト(筆記試験100%)						
教科書	標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学 第5版		編集 鶴見隆正		医学書院		
参考図書	シンプル理学療法学シリーズ 日常生活活動学テキスト		監修 細田多穂		南江堂		
教員からのメッセージ	ADLの講義は、リハビリテーションの諸領域とつながる重要な内容を含んでいますので必ず全て出席してください。しっかり予習と復習を行って授業に挑んでください。なお、都合により予定を変更する場合があります。						